

IANA機能の監督権限移管

2015年4月2日 IGCI6

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター
IP事業部・インターネット推進部
奥谷泉



一般社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンター

Copyright © 2015 Japan Network Information Center

おさらい：全体の流れ

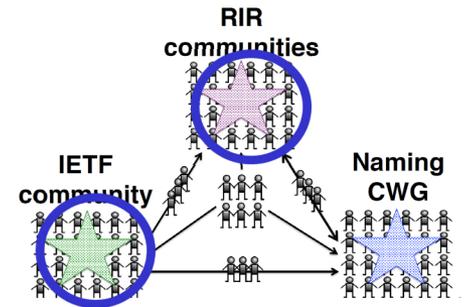
2014年

- 3月14日：NTIAが移管意向を発表
- ~7月：ICANNを中心に検討体制の検討
- 7月：ICG(IANA Stewardship Coordination Group)組成
- 9月8日：ICGが提案募集を発表
 - 3資源コミュニティに各資源に関する提案策定依頼

2015年

- 1月15日：ICGの提案締め切り
 - プロトコルパラメータ(IETF)、番号資源(RIR)は期限内に提案提出済
 - ドメイン名(ICANNのNaming CWG)は2015年6月の提出が目処

Transition proposal development



IGCJ5以降の議論

- **1/27 : State of the Net Conference**
- **2/8-2/12 : ICANN52**
- **2/25 : 上院通商科学交通委員会公聴会**
- **3/2-3/6 : APNIC39**
- **3/23-3/24 : ICANN説明責任対面会議**
- **3/26-3/27 : CWG-Name対面会議**
- **さらに個々のフォーラムでも議論**
 - ISOC Webinar(3/4): <http://www.internetsociety.org/ianaxfer>
 - Middle East DNS Forum(3/10)
 - RightsCon(3/24)

ICANN52での議論

- ICGによる対面会議(2日間)
- IANA機能の監督権限移管およびICANN説明責任に関する全体像の共有セッション
- IANA機能の監督権限移管における各オペレーショナルコミュニティからの提案・検討状況の共有
- ICANN Accountability(説明責任)に関する検討状況の共有
- その他 — CWG-Namingによる議論、ICANN Accountability CCWGによる議論、各関係者グループによる議論

ICANN52



クリントン元大統領の政策顧問を務めたIra Magaziner氏



各資源の代表者が提案を紹介



ICGの対面会議



APNIC39



- **Opening Ceremony & Plenary**
 - ICANNのIANA Department責任者 Elise Gerichが発表 ” ABCs of Number Allocation”
- **Update: IANA Stewardship Transition Process**
 - 番号資源、ドメイン名、オペレータの視点からパネルディスカッション
 - 日本からBIGLOBEの川村聖一氏、JPNIC奥谷泉が登壇
 - APNICより、SLA策定準備に向けたコミュニティの意向確認
- **APNIC総会**
 - 番号視点として、提案の実装に向けた今後の進め方を確認



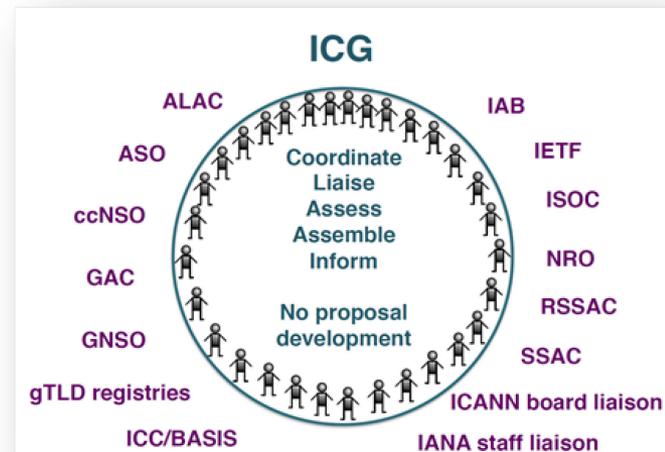
NTIAによる明確化・強調

- 提案提出は全コミュニティからの提案が出揃った状態で1回限り
- ドメイン名の提案：複雑にする必要はない
- 2015年9月は目標であり締め切りではない、十分な議論が行われ適切な議論が行われること重要
- Accountabilityの提案も同時に提出が必要、ストレステストが鍵を握る

ICGによる対応

- ドメイン名の状況を踏まえた全体のスケジューールの見直し
- 提出済の提案への質問・確認
- 提出済の提案における齟齬の確認

IANA Stewardship Coordination Group (ICG):
異なる立場の関係者により構成され、
NTIAへの提案提出に向けた調整を行うグループ



全体スケジュール

<http://la51.icann.org/en/schedule/thu-icg-community/presentation-icg-16oct14-en>

Target	Jan-15	Mar-15	May-15	Jun-15	Jul-15	Sept-15
Communities Develop Proposals	Communities					
ICG Develops Draft Response	ICG	ICG				
Review of the Draft Response		Communities	Communities			
ICG Develops Final Response			ICG	ICG		
Final Response Review				Communities	Communities	
Final Response Delivery					ICG	
Testing		Communities	Communities	Communities	Communities	Communities
NTIA Review				NTIA	NTIA	NTIA

ICG
Communities
NTIA

**ドメイン名の状況を踏まえた
スケジュールの見直しをICGで検討中**
→ みなさんからの参加が求められるプロセス

今後の検討におけるポイント

- **ドメイン名がどの程度今後進捗するのか**
- **ICANN Accountabilityに関する検討の進捗、ドメイン名との連携**
- **今後の全体スケジュール：延長が必要か**
- **提案のうち、他の機能に影響を及ぼす内容の確認、調整**

ドメイン名関連機能の進捗

- **ドメイン名の場合、他の2コミュニティと異なり、IANA機能の直接の関係者、それを取り巻くコミュニティとIANAの運用組織がいずれも ICANN**
 - 番号資源はRIR、プロトコルパラメータはIETF(IAB)、と関係者がICANNと異なる機関であるため、IANA機能に関する契約締結をICANNと行うことが可能
- **IANA機能の運用者としてのICANNの信頼性をどう担保するかが鍵**
 - 直接の利害関係者からの信頼、ICANNコミュニティからの信頼
 - ICANN Accountability(説明責任) CCWGとの連携

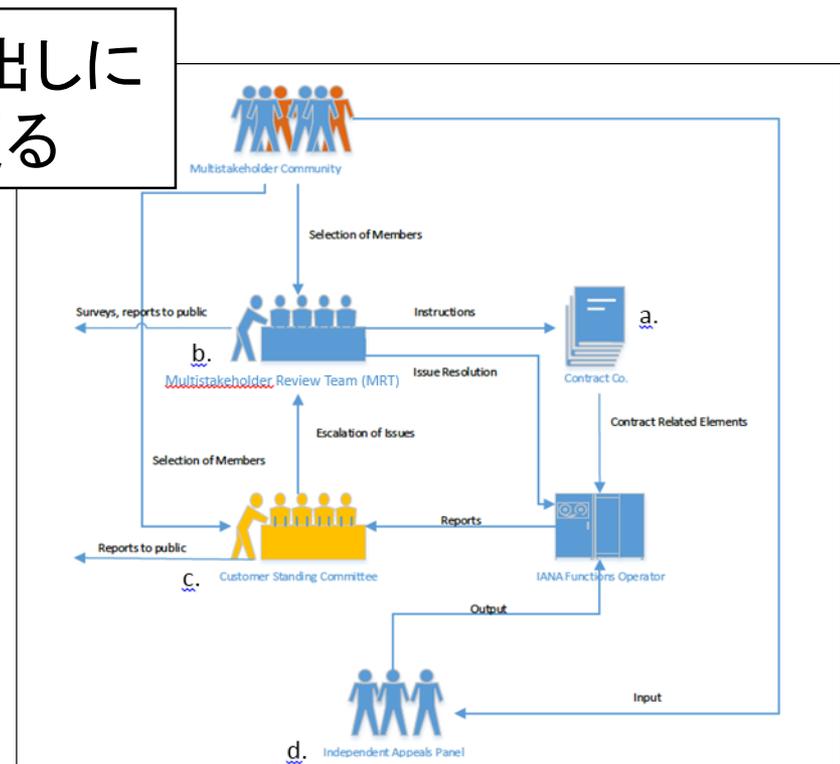
ドメイン名関連機能の当初の提案内容

<https://www.icann.org/en/system/files/files/cwg-naming-transition-01dec14-en.pdf>

- NTIAの、IANA監督権限に関する機構をマルチステークホルダーの機構で置き換えることを旨に以下の機構を提案 (2014年12月)

- a. IANA機能運営者と契約を交わす
「契約法人」(Contract Co.)
- b. MSHによるレビュー
コミッティ(MRT)
- c. レジストリによる
顧客常設委員会(CSC)
- d. 独立抗議パネル(IAP)

振り出しに
戻る



ドメイン名関連機能の検討状況

- **イスタンブールで対面会議開催 (3/26-3/27)**
- **7つのモデルを基に法的な適正を分析**
 - External Solutions
 - Contract Co.
 - Trust
 - Internal Solutions
 - Accountability mechanisms
 - Trust
 - Hybrid/Integrated Model
 - IANA subsidiary (“affiliate”) of ICANN
 - IANA shared services agreements
 - Standalone IANA entity

どの案を適用するかは
ICANN Accountability CCWG
とも連携しながら検討

ドメイン名関連機能の検討の進め方

- **Drafting Team設立、各検討課題単位で検討**
- **現時点での提案ドラフトを公表 (3/29)**
 - <https://community.icann.org/download/attachments/49351404/CWG%20-%20Draft%20Transition%20Plan%20V2.2.1.pdf?version=1&modificationDate=1426689430000&api=v2>
 - 現行のIANA契約の各項目への対応
 - NTIAが担っているゾーンファイル更新承認の対応
 - 未確定な部分はその旨記述
- **スケジュール**
 - 20 April - 20 May: Public Comment (30 days) on the Draft Proposal
 - 8 June: Delivery of the Final CWG Proposal to the Chartering Organizations
 - 25 June: Target to deliver approved Final CWG Proposal to IANA Stewardship Transition Coordination Group (ICG)

CWG-NamingのDrafting Team

- **デザインチームA-Oに分かれて課題に特化して検討**
 - <https://community.icann.org/display/gnsocwgdtdstwrdsHP/Design+Teams+List>

**A:「IANA Service Level Expectations」、B:「Appeal Mechanism for ccTLD Delegations / Redelegations」、C:「CSC」、
D:「Authorization Function」、E:「SAC 69 / Red Team」、
F:「Relationship between the NTIA, IANA and the Root Zone Maintainer」、G:「IANA Intellectual Property Rights, including the IANA Trademark and Domain Name」、H:「.INT Operations」、
I:「Competition policy and Conflicts of Interest」、J:「CSC/MRT confidentiality and the perception of conflicts of interest」、
K:「OFAC Licensing」、L:「IANA Function Separation Mechanism」、
M:「Escalation Mechanisms beyond CSC」、N:「Periodic Review of the IANA Functions」、O:「Red Team」**

ICANN Accountability(説明責任)

- 米国政府による監督がなくなってもICANNが信頼に足りうるか
- ICANN Accountability CCWG
 - Work Stream1 : IANA監督権限移管前に対応が必要
 - Work Stream2 : IANA監督権限移管後に対応
- 主な検討のポイント
 - Community Empowerment、Review & Redress、Stress Test
 - 特にStress Testは、移管時の承認を米国議会に求めるうえで重視されている
 - <https://community.icann.org/download/attachments/52232556/Applying%20Stress%20Tests%20%5BDraft%20v8%5D.pdf?version=1&modificationDate=1426877855000&api=v2>

ICANN CCWGによる検討事項

- **Enhancing ICANN's Mission and Core Values;
(ICANNの使命と基本的価値観の強化)**
 - 責務の確認(Affirmation of Commitments : AoC)の一部の定款への反映
 - Fundamental Bylawsの策定
- **Strengthening the existing independent review process (既存のIRPの強化)**
- **Mechanisms for community empowerment (コミュニティの意向反映の強化)**
 - ICANN理事のrecall
 - コミュニティによる定款、使命及び基本的価値観の承認、支持されない変更の防止
 - コミュニティの意見を反映しない戦略計画、予算の棄却

ICANN Accountability(説明責任) に関する検討の進め方

- **イスタンブール会議で、パブコメの対象とする課題と現時点での対応案をとりまとめ**
- **CWG-Namingに、CCWGとしてICANNの説明責任強化を提案予定のポイントを共有済**
- **スケジュール**
 - 4月20日を目処としたパブコメ開始に向けて準備中
 - 2015年6月 ICANN53会議でコミュニティと議論

番号資源

- **提案提出後のコメントへの対応**
 - 提案提出後に表明された懸念への対応
 - IPR、他ICGからの追加質問への対応
- **提案への理解向上支援：FAQ、スライド策定**
- **他コミュニティとの連携**
 - IPRにおける対応をIETFと調整
 - ドメイン名での検討案のうち、番号資源に関わりがありそうな事項の情報共有をCWG-Namingへ要請
- **今後の進め方の確認・整理**
 - SLA策定にあたり、提案通り、将来IANA運用者をICANNから変更する選択肢を残す
 - これに基づき各RIRで実装を準備、各RIRのフォーラムにて随時状況共有、相談

番号資源における実装に向けた検討

- **APNIC39 (2015年3月)**

- 今後の進め方確認



- **ARIN35 (4.12~15)、 RIPE70(5.11~15)、
LACNIC23(5.18~22)、 AFRINIC22(6.3~5)**

- 実装案の進捗共有・相談



- **ianaxfer list@nro.net + 各RIRのML(APNIC地域 :ianaxferlist@apnic.net)で議論**

プロトコルパラメータ

- **プロトコルパラメータとしてさらなる検討事項はない**
 - IETF92でのセッション開催中止
- **IPRについて番号資源と連携して姿勢を表明済**

コミュニティ間で調整が必要な事項

- 現時点で明らかになっているものはIRP(知財権)の移管の扱い
- 番号資源は、IANA運用者ではなく、コミュニティが知財権を持つことを提案
 - IETF Trustを移管先の選択肢としてあげている
 - 他のオペレーショナルコミュニティとの調整が必要とし、移管先は限定していない
- プロトコルパラメータもこの対応に同意、IETF Trustから受け入れ準備があることを発表
- ドメイン名においてはDesign Team Gで検討、複数の懸念があることが表明されている

米国政府における動向

- **NTIAの移管関連の支出凍結**
- **State of the Net ConferenceにてNTIAのLarry Strickling長官がスピーチ (1/27)**
 - 移管に伴い重視される事項を強調
 - <http://www.ntia.doc.gov/speechtestimony/2015/remarks-assistant-secretary-strickling-state-net-conference-1272015>
- **米国上院通商科学交通委員会の公聴会 (2/25)**
 - http://www.commerce.senate.gov/public/index.cfm?p=Hearings&ContentRecord_id=683924ae-83d7-4bf4-922a-cdec9556ba9&ContentType_id=14f995b9-dfa5-407a-9d35-56cc7152a7ed&Group_id=b06c39af-e033-4cba-9221-de668ca1978a
 - Strickling長官、ICANN CEO Fadi Chehade氏も証人
- **US Government Accountability Office(GAO)からの主要な関係者とのテレカンファレンス要請**

今後

- **ドメイン名とICANN Accountability : 4/20を目処にパブコメを準備**
- **番号資源 : 提案の実装案をRIRで検討、RIRコミュニティに随時進捗報告・相談**
- **プロトコル : 特筆すべき対応事項になし**
- **コミュニティ間共通の課題、お互い影響のある内容の共有**
- **ICGがNTIAへの提案提出スケジュールを延長するかは現時点では未確定**